

# CDと配信用ファイルの制作方法

Pyramixでは、一定のワークフローによりファイナルのファイルを作成します。DDPファイルも同様の方法で作成できます。また、配信用の高次サンプリングファイル（ハイレゾファイル）もこれらの工程で作成することができます。

## 【ワークフロー】

簡単に手順を説明すると、

1. タイムライン上にClipを曲順に並べ、各曲間のタイミングなどを合わせる
2. 各クリップに**CD Mark**をつける
3. **Generate CD Image / SACD Editmaster** で**CD Imageファイル(.pmi)**を作成する
4. 別ソフト「**DiscWrite**」を起動し、作成した**CD Image**を読み込みCDを作成する / DDPファイルを作成する

となります。

この文章情報では、これらの手順について細かく説明を行っています。

## 1. タイムライン上にクリップを並べる

Pyramixのマスタリング用のプロジェクトのタイムライン上にクリップを並べるには、

- あらかじめMixdownしたオーディオファイルをMedia Managerから持ってきてタイムラインに乗せ、アルバムを完成させる
- Source-DestinationでDestination側に次々とクリップを並べて行き、アルバムを完成させる

などの様々な方法があります。

どのような方法でも、聴かせたい曲順と曲間のタイミングとなるよう、クリップを並べてください。

## ※ 便利なコマンドなどの情報

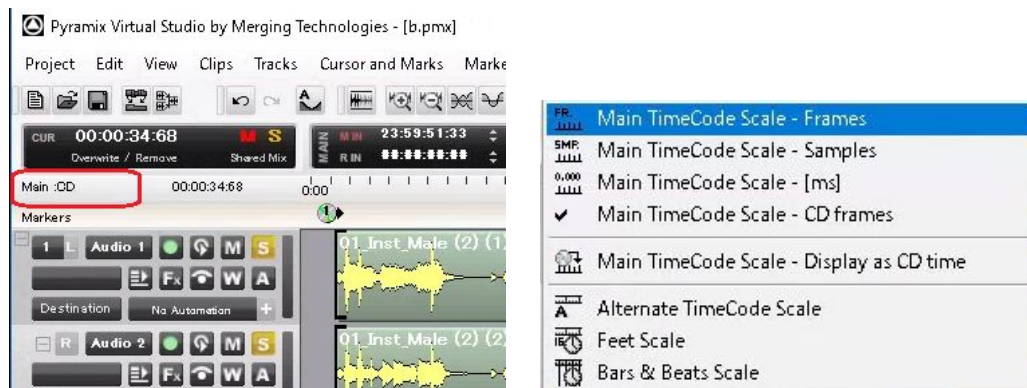
### **Edit > Spread**

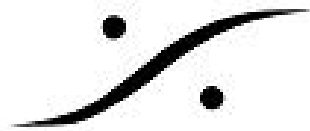
2つ以上のクリップ（またはGroup）を選択し、**Edit > Spread**を行うと、時間入力用のウィンドウが表示されます。ここに適当な時間を入力する（例えば2秒）と、各クリップの間隔が入力した時間となります。

### **CD Frame 表示**

CDはCD Frameが最小単位となります。CD Frameは1秒を75フレームで管理します。PyramixではタイムラインをCD Frameで表示することが可能です。

タイムラインの左にある“Main:”の部分（下図赤枠部分）をクリックすると、変更できるスケールが表示されます。





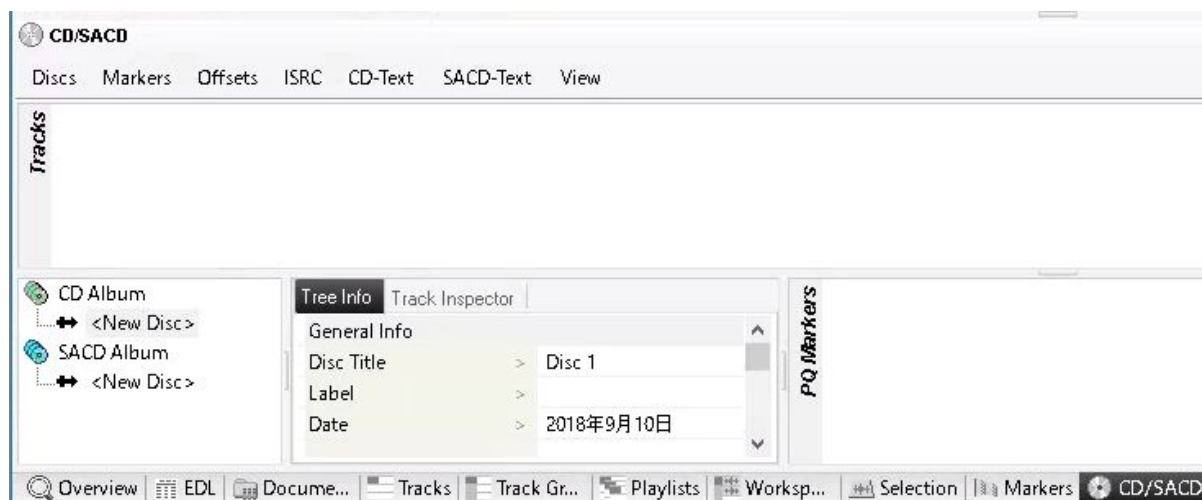
## 2. CD Mark

- **CD Markをつけるには**

CD Markをつけるには、まず **CD/SACD タブ**で**Disc1**を作成する必要があります。通常開くTemplateに既にDisc1が作られていると、そのままCD Mark をつけていくことができます。

**CD/SACD タブ**が見れない場合は、**View > Editor Tabs > CD/SACD**で表示させることができます。

下図は、Discが未だ作成されていない状態のCD/SACDタブです。



左下のウィンドウで、CD Albumの中にある<New Disc>をダブルクリックすると、「Do you want to copy the parent Album General Info to this new disc? (親アルバムの情報をこのディスクにコピーしますか?)」のダイアログが表示されます。全く新しいDiscであればNoをクリックすると、Disc1が作成されます。これからつけていくCD Markは、全てこのDisc1のものとなります。例えば2枚組アルバムを作成する場合は、Disc2も同様の手順で作成しておきます。この欄で選択したCD Markの情報のみがタイムライン上とCD/SACDタブのその他の欄に表示されます。



Discを作りすぎた場合や、CD Markを完全にやり直したい場合は、対象となるDiscをマウスで選択し、**右クリック⇒[Delete Disc]**でDiscごと削除することができます。

- **CD Mark について**

CD Markには、**Start, Stop, Index**があります。これらをPyramixのタイムライン上につけていきます。基本的に曲が始まる場所がCD Start, 曲が終わる場所がCD Stopとなるわけですが、つけた場所が強制的にCDのStartとなりますので、無音の部分でもCDのStartに登録することが可能です。

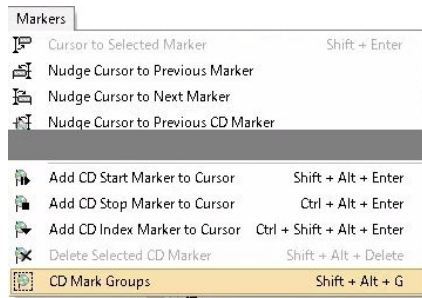
CD Mark は、基本的なRED BOOKのルールに従う必要があります。このルールを守らなかった場合、何らかのエラーまたはアラートがワークフロー中で表示されます。

CDを作成する場合、各曲の開始点に**CD Start Mark**をうつ必要があります。

CD Mark をマニュアルでうつには、各曲の始まりの地点にカーソルを進め、**Markers > Add CD Start Marker to Cursor**を行います。

同様に、CD（の最後の曲）が終わる地点にカーソルを進め、**Markers > Add CD Stop Marker to Cursor**を行う必要もあります（RED BOOKのルールでは、曲数分の**CD Start**と最低1個の（CDが終わる地点で）**CD Stop**が必要です）。

- **CD Mark Groups** について



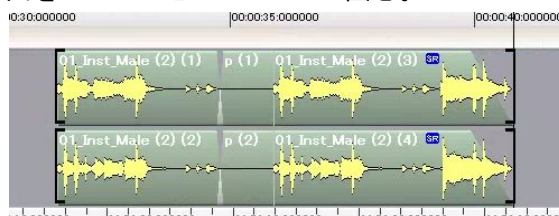
**Markers > CD Mark Groups** を行うと、GroupとなっているClipの始まりと終わりに自動的にCD Markが付加されます。

編集点が多くある曲にCD Markを簡単にうつには、曲ごとに**Group**にしてしまう事をお勧めします。

これは、操作ミスにより編集点に変更をくわえてしまうことを防ぐためにも有効な方法です。

そのためには、

1. 曲を **Gate In** と **Gate Out** で囲む。



2. **Selection > Selection between Gates** を行い、曲に使用されているクリップを全て選択する。



3. **Clips > Group** を選択する。



と操作します。

この操作を曲毎に行った後に **Markers > CD Mark Groups** を行うと、自動的にCD Markが付加されます。

## ● Tree Info と Track Inspector

Tree Info と Track Inspector には、CDに関する情報（ISRCや曲のタイトルなど）を入力してください。

Tree Info はCDのDisc毎、Track Inspectorは曲ごとに入力する必要があります。

上欄にある **Tracks** で選択した曲の情報がTrack Inspectorに表示され、入力が可能となります。

CD/SACD

Discs Markers Offsets ISRC CD-Text SACD-Text View

| Name                             | # | Pause       | Start       | End         | Length      | Start Offset | Use Off... | ISRC | Copy | Comm |
|----------------------------------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|------------|------|------|------|
| Click here to add a new CD Track |   |             |             |             |             |              |            |      |      |      |
| Instrumental                     | 1 | 00:00:00:00 | 00:00:31:34 | 00:00:40:61 | 00:00:09:27 | 00:00:00:00  | No         |      | No   |      |
| Male_Vocal                       | 2 | 00:00:01:74 | 00:00:42:60 | 00:00:52:12 | 00:00:09:27 | 00:00:00:00  | No         |      | No   |      |
| Female_Vocal                     | 3 | 00:00:01:16 | 00:00:53:28 | 00:01:02:55 | 00:00:09:27 | 00:00:00:00  | No         |      | No   |      |

CD Album  
Disc 1  
<New Disc>  
SACD Album  
<New Disc>

Tree Info Track Inspector

Name > Instrumental  
# > 1  
Pause > 00:00:00:00  
Start > 00:00:31:34  
End > 00:00:40:61  
Length > 00:00:09:27  
Start Offset > 00:00:00:00  
Use Offset > No  
ISRC >  
Copy > No  
Comment >  
CD Text Info  
Genre > Japanese Pop  
Title >

PQ Markers

| Name                        | # | Type  | Time        | Offset      |
|-----------------------------|---|-------|-------------|-------------|
| Click here to add a new ... |   |       |             |             |
| Instrumental                | 1 | Start | 00:00:31:34 | 00:00:00:00 |
| Instrumental Stop           | 1 | Stop  | 00:00:40:61 | 00:00:00:00 |
| Male_Vocal                  | 2 | Start | 00:00:42:60 | 00:00:00:00 |
| Male_Vocal Stop             | 2 | Stop  | 00:00:52:12 | 00:00:00:00 |
| Female_Vocal                | 3 | Start | 00:00:53:28 | 00:00:00:00 |
| Female_Vocal Stop           | 3 | Stop  | 00:01:02:55 | 00:00:00:00 |

※ これらの詳細情報は、Pyramidixマニュアル（英文）または「AlbumPublishing.pdf」（和文）をお読みください。[http://www.dspj.co.jp/~manuals/MergingTechnologies/PMX\\_v10/AlbumPublishing.pdf](http://www.dspj.co.jp/~manuals/MergingTechnologies/PMX_v10/AlbumPublishing.pdf)

## Validate PQ

CD MarkにRed Book違反が無いかをCD/SACDタブの **Maker > Validate PQ** で検証することができます。何かの違反があった場合、修正できるものはこのコマンドが修正した旨のダイアログが表示されます。修正できないものがある場合、警告が表示されます。次のプロセスに進む前にマニュアルで修正してください。

CD/SACD

Discs Markers Offsets ISRC CD-Text

Tracks

CD Mark Groups  
Add Start Marker  
Add Stop Marker  
Add Index Marker  
Clear All Markers  
Delete Selected Marker(s)  
Delete Selected Track(s)  
Validate Name  
**Validate PQ**  
Export...

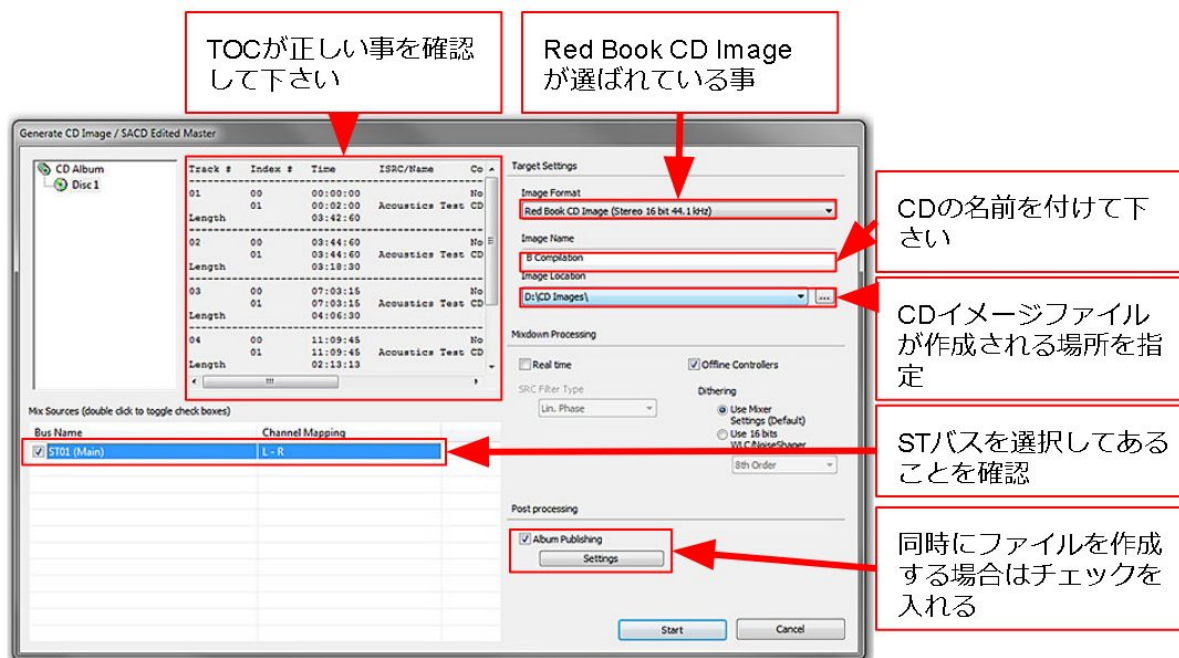
何もエラーが表示されなかったら、次のプロセスに進んでください。



### 3. Generate CD Image / SACD Edited Master

**Project > Generate CD Image / SACD Edited Master** では、Projectで使用しているミキサーを通った後の音をイメージファイルとして作成します。ミキサー上のパンナーやエフェクターが有効となりますので、あらかじめ音を聴いて確認してください。

**Project > Generate CD Image / SACD Edited Master** を開くと下図のUIが表示されます。



Generate CD Image / SACD Edited Master

このUIでは、Target Settings の **Image Format**（作成するイメージ形式）と **Image Name**（作成するイメージの名前）、**Image Location**（イメージを作成する場所：ディレクトリー）を設定してください。

#### ● DDPの作成

PyramixでDDPを作成するには、まず**CD Image (.pmi)** ファイルを作成し、それを元に**DiscWrite**というソフトで作成します。

#### ● CDの作成

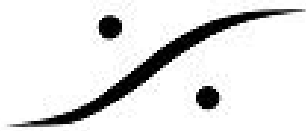
まず**CD Image (.pmi)** ファイルを作成し、それを元に**DiscWrite**というソフトでCD-Rを作成します。

#### ● 配信用の高次サンプリングレート ファイル（ハイレゾファイル）の作成

現在使用しているプロジェクトのサンプリングレートで、全てのファイルの元となる**.mtff**ファイルを作成し、好みのSRCを使用して自動的に作成していきます。この自動ファイル作成では、**CD Image (.pmi)** ファイルも同時に作成することができます。作成したいファイルは、**Post processing > Album Publishing > Settings** で設定することができます。また、一旦**.mtff**ファイルを作成しておけば、**Album Publishing** というソフトで後から作成することも可能です。

※ これらの詳細情報は、Pyramixマニュアル（英文）または「AlbumPublishing.pdf」（和文）をお読みください。[http://www.dspj.co.jp/~manuals/MergingTechnologies/PMX\\_v10/AlbumPublishing.pdf](http://www.dspj.co.jp/~manuals/MergingTechnologies/PMX_v10/AlbumPublishing.pdf)

以上の準備が整ったら、右下にある**[Start]**をクリックします。作業が終了するまでお待ち下さい。



## 4. DiscWrite



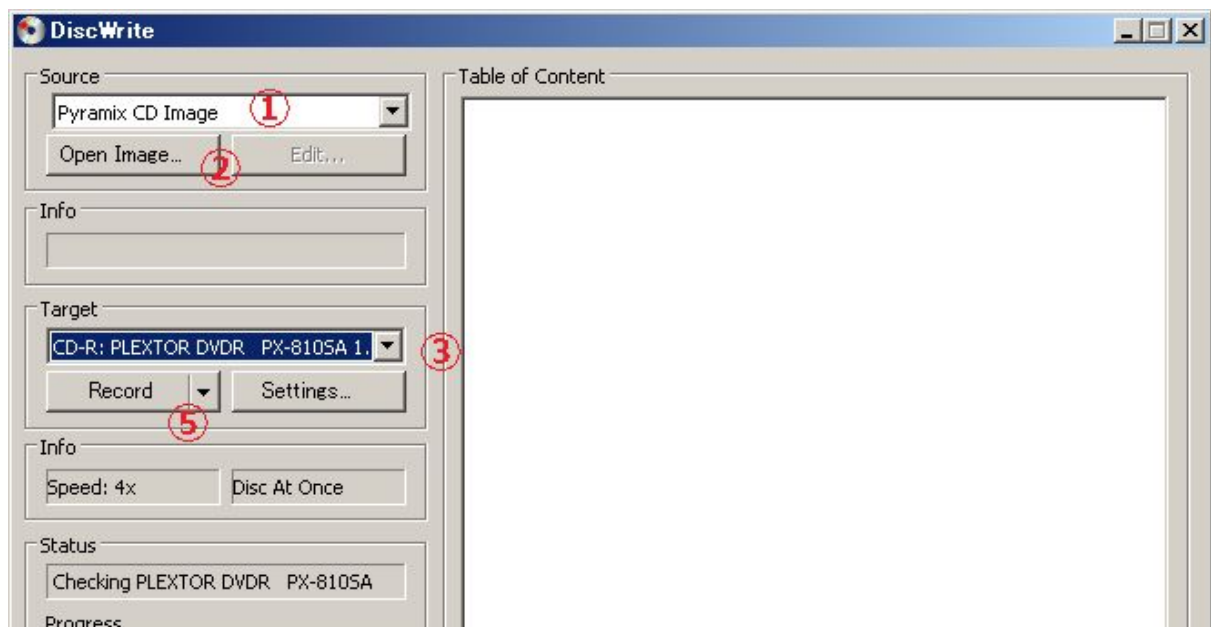
**DiscWrite**は、スタートメニューの中やデスクトップにショートカットが存在するはずです。ない場合は、**スタート > 全てのプログラム > Merging Technologies > Pyramix > DiscWrite**で起動させることができます。

CD-Rを作成したい場合で、PCにDVD-Rドライブが接続されていない場合は、**DiscWrite**を起動する前にドライブをPCに接続し、PCがドライブを認識していることを確認してから**DiscWrite**を起動してください。

**DiscWrite**が起動するとインターフェースは下図のようになっています。

### CD-Rを作成する場合

1. **Source**を **Pyramix CD Image** に合わせます。
2. **[Open Image...]** をクリックし、作成した**.pmi**ファイルを選択して**[開く]**をクリックします。
3. **Target** のセクションをDVD-Rドライブに設定します。
4. ドライブにブランクのCD-Rを入れます。
5. **[Record]**をクリックして書き込みを開始します。
6. 書き込みが終了すると、自動的にメディアがエジェクトされます。



### DDPを作成する場合

1. **Source**を **Pyramix CD Image** に合わせます。
2. **[Open Image...]** をクリックし、作成した**.pmi**ファイルを選択して**[開く]**をクリックします。
3. **Target** のセクションを**[DDP Folder]**に設定します。
4. **[Record]**の右横の下矢印をクリックして**[Select Folder ...]**をクリックし、エクスプローラーでDDPを書き込みたいフォルダーを選択して**[OK]**をクリックします。
5. **[Record]**をクリックして書き込みを開始します。
6. 書き込みが終了するまで待ちます。

